



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年2月14日

上場会社名 SEMITEC株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6626 URL <https://www.semitec.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石塚 大助
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 須川 直輔 TEL 03 (3621) 1155
 四半期報告書提出予定日 2022年2月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の連結業績（2021年4月1日～2021年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	15,623	18.5	2,508	16.7	2,588	33.5	1,945	47.9
2021年3月期第3四半期	13,175	16.3	2,148	135.1	1,937	103.5	1,315	104.7

(注) 包括利益 2022年3月期第3四半期 2,464百万円 (69.0%) 2021年3月期第3四半期 1,458百万円 (286.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	684.57	—
2021年3月期第3四半期	462.95	—

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額は、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年3月期第3四半期	22,328	14,108	63.1	4,963.48
2021年3月期	19,882	11,757	59.1	4,136.37

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 14,108百万円 2021年3月期 11,757百万円

(注) 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、2022年3月期第3四半期に係る各数値については、当該会計基準等を適用した後の数値となっております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	40.00	40.00
2022年3月期	—	0.00	—	—	—
2022年3月期(予想)	—	—	—	80.00	80.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 2022年3月期期末配当金（予想）の内訳 普通配当 30円00銭 特別配当 50円00銭

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年4月1日～2022年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,000	11.9	3,000	8.0	3,010	9.4	2,095	8.8	737.03

（注） 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第29号 2020年3月31日）等を当第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、上記の連結業績予想は当該会計基準等を適用した後の金額になっております。

※ 注記事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

（注）詳細は、添付資料P.9「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

（4）発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	2,842,900株	2021年3月期	2,842,900株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	459株	2021年3月期	411株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	2,842,460株	2021年3月期3Q	2,840,846株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(追加情報)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済は、新型コロナウイルス感染症による厳しい状況が緩和される中、持ち直しの動きもみられましたが、オミクロン株の急激な感染拡大や、原材料・部材の調達難及び価格の高騰等は、解消されておらず、先行き不透明な状況は継続しております。

この状況下、当企業グループの業績は、世界的な半導体不足にも関わらず、HEV・EVを主体とする自動車関連の販売が大きく増加し、産業機器（その他含む）関連の販売も好調でありました。医療関連においては、血糖値測定器用の販売は、増加傾向を維持しておりますが、前年における体温計の特需販売が大きく減少し、前年同四半期を下回りました。しかしながら一方で、家電・住設機器及びOA機器関連の販売が増加したことで、全体の売上高は、前年同四半期を上回ることができました。なお、当第3四半期会計期間にかけて、一部諸経費の増加やセールスマックスの変化等により、やや収益性は低下しましたが、前年同四半期を上回り着地いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は15,623百万円（前年同四半期比18.5%増）、営業利益は2,508百万円（前年同四半期比16.7%増）、経常利益は2,588百万円（前年同四半期比33.5%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,945百万円（前年同四半期比47.9%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(日本)

自動車関連、産業機器関連及び家電・住設機器関連を中心に、売上高は増加いたしました。利益面では、収益性の高い産業機器関連の販売、医療関連の内部取引及び素子支給が増加した結果、売上高4,736百万円（前年同四半期比27.9%増）、セグメント利益437百万円（前年同四半期はセグメント損失59百万円）となりました。

(中国)

前年における体温計特需が落ち着いたことで、医療関連の売上高は減少いたしました。産業機器関連、自動車関連及び家電・住設機器関連の売上高は増加し、前年同四半期を上回りました。しかしながら利益面では、特需で高利益であった体温計関連の減少、社会保険料（前年同四半期は減免措置）の増加等により、前年同四半期を下回りました。この結果、売上高5,704百万円（前年同四半期比13.6%増）、セグメント利益988百万円（前年同四半期比25.2%減）となりました。

(その他アジア)

自動車関連及び家電・住設関連、OA機器関連の売上高は、前年同四半期を上回りました。利益面では、当第2四半期会計期間において、ベトナム工場のロックダウン規制により生産稼働停止が発生しました。その後、当第3四半期会計期間では、ロックダウン規制は解除され稼働を行いました。この結果、売上高3,394百万円（前年同四半期比20.6%増）、セグメント利益604百万円（前年同四半期比38.8%増）となりました。

(北米)

医療関連は、増加傾向の販売を維持し、また、新規採用による自動車関連が増加いたしました。この結果、売上高1,788百万円（前年同四半期比9.1%増）、セグメント利益495百万円（前年同四半期比6.0%増）となりました。

上記は各拠点の所在地を地域別に集計したものであります。

【用途別比較】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
OA機器	2,236	2,553	317	14.1%
家電・住設	2,619	3,306	687	26.2%
自動車	3,350	4,731	1,381	41.2%
産業機器	1,483	2,253	770	51.9%
医療	2,554	1,557	▲ 997	▲ 39.0%
情報機器	267	306	39	14.6%
その他	666	917	251	37.6%
合計	13,175	15,623	2,448	18.5%

【販売先地域別比較】

(単位：百万円)

	前第3四半期 連結累計期間	当第3四半期 連結累計期間	増減	増減率
中国	4,023	4,947	924	22.9%
日本	3,181	4,064	883	27.7%
韓国	1,794	2,152	358	19.9%
東南アジア他	1,602	1,789	187	11.6%
米国	1,637	1,787	150	9.1%
欧州	521	661	140	26.8%
台湾	417	223	▲ 194	▲ 46.5%
合計	13,175	15,623	2,448	18.5%

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末日における財政状態は、総資産が前連結会計年度末と比べ、2,445百万円増加し、22,328百万円となりました。各資産・負債の主な増減要因は、次のとおりであります。

(流動資産)

流動資産は、前連結会計年度末と比べ1,729百万円増加し、15,877百万円となりました。これは、主に商品及び製品、原材料及び貯蔵品と受取手形、売掛金及び契約資産の増加によるものであります。

(固定資産)

固定資産は、前連結会計年度末と比べ716百万円増加し、6,451百万円となりました。これは、主に有形固定資産の増加によるものであります。

(流動負債)

流動負債は、前連結会計年度末と比べ168百万円増加し、5,991百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金、未払法人税等の増加と設備関係支払手形の減少によるものであります。

(固定負債)

固定負債は、前連結会計年度末と比べ73百万円減少し、2,228百万円となりました。これは、主に長期借入金の減少とリース債務及び繰延税金負債の増加によるものであります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末と比べ2,350百万円増加し、14,108百万円となりました。これは、主に利益剰余金と為替換算調整勘定の増加によるものであります。なお、自己資本比率は63.1%となり、1株当たり純資産額は、4,963円48銭となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年3月期通期連結業績予想につきましては、最近の業績動向を踏まえて、2021年8月12日の「2022年3月期連結業績予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました、通期の連結業績予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,259,577	4,838,315
受取手形及び売掛金	3,655,515	-
受取手形、売掛金及び契約資産	-	4,054,509
電子記録債権	805,373	1,142,425
商品及び製品	2,052,343	2,829,960
仕掛品	819,525	830,701
原材料及び貯蔵品	981,082	1,418,754
その他	584,723	772,180
貸倒引当金	△10,430	△9,803
流動資産合計	14,147,711	15,877,044
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	4,134,869	4,301,026
減価償却累計額	△2,358,623	△2,451,716
建物及び構築物(純額)	1,776,245	1,849,309
機械装置及び運搬具	6,128,696	6,908,189
減価償却累計額	△4,663,178	△5,044,676
機械装置及び運搬具(純額)	1,465,517	1,863,513
土地	584,898	584,404
建設仮勘定	362,482	416,437
使用権資産	880,974	1,119,301
減価償却累計額	△255,201	△359,939
使用権資産(純額)	625,772	759,362
その他	1,219,139	1,272,670
減価償却累計額	△903,540	△941,202
その他(純額)	315,598	331,467
有形固定資産合計	5,130,515	5,804,495
無形固定資産		
ソフトウェア	50,755	44,387
その他	1,309	1,407
無形固定資産合計	52,064	45,795
投資その他の資産		
投資有価証券	164,778	177,391
繰延税金資産	62,196	107,472
その他	327,491	317,858
貸倒引当金	△2,031	△1,881
投資その他の資産合計	552,435	600,840
固定資産合計	5,735,015	6,451,131
資産合計	19,882,727	22,328,175

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2021年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,148,436	1,358,849
設備関係支払手形	86,540	6,094
電子記録債務	523,452	514,855
短期借入金	1,950,000	1,950,000
1年内返済予定の長期借入金	425,331	400,011
リース債務	157,795	167,980
未払法人税等	224,754	261,232
その他	1,306,810	1,332,527
流動負債合計	5,823,122	5,991,550
固定負債		
長期借入金	865,797	565,788
長期末払金	157,610	157,610
リース債務	565,671	713,663
繰延税金負債	452,802	538,503
退職給付に係る負債	248,720	239,978
その他	11,402	12,662
固定負債合計	2,302,004	2,228,205
負債合計	8,125,126	8,219,756
純資産の部		
株主資本		
資本金	773,027	773,027
資本剰余金	653,495	653,495
利益剰余金	9,870,583	11,702,759
自己株式	△1,288	△1,558
株主資本合計	11,295,817	13,127,724
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	468,036	982,257
退職給付に係る調整累計額	△6,253	△1,563
その他の包括利益累計額合計	461,783	980,694
純資産合計	11,757,601	14,108,418
負債純資産合計	19,882,727	22,328,175

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	13,175,990	15,623,594
売上原価	7,913,062	9,704,147
売上総利益	5,262,928	5,919,447
販売費及び一般管理費		
給料	1,013,967	1,038,359
賞与	202,585	246,667
法定福利費	180,464	201,550
福利厚生費	53,800	57,946
退職給付費用	42,114	43,745
役員報酬	191,964	215,823
雑給	17,563	16,150
研究開発費	444,961	456,844
その他	967,476	1,134,098
販売費及び一般管理費合計	3,114,897	3,411,184
営業利益	2,148,030	2,508,262
営業外収益		
受取利息	3,235	14,781
受取配当金	-	3,123
為替差益	-	63,265
雑収入	40,464	54,907
営業外収益合計	43,699	136,079
営業外費用		
支払利息	37,523	40,573
為替差損	197,848	-
雑損失	18,584	15,194
営業外費用合計	253,957	55,768
経常利益	1,937,773	2,588,573
税金等調整前四半期純利益	1,937,773	2,588,573
法人税、住民税及び事業税	599,689	605,772
法人税等調整額	22,892	36,924
法人税等合計	622,582	642,697
四半期純利益	1,315,191	1,945,876
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,315,191	1,945,876

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
四半期純利益	1,315,191	1,945,876
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	137,072	514,220
退職給付に係る調整額	6,023	4,690
その他の包括利益合計	143,096	518,910
四半期包括利益	1,458,287	2,464,786
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,458,287	2,464,786

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することといたしました。

これにより、買戻し義務を負っていない有償支給取引については、従来は、有償支給時点で、その支給品の譲渡に係る収益を認識しておりましたが、当該支給品に係る収益を認識しない方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用にあたっては、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、第1四半期連結会計期間の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用しておりません。

この結果、有償支給取引における収益は、売上原価で調整していることから、当第3四半期連結累計期間の売上高及び利益剰余金の当期首残高への影響はありません。また、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益への影響額は軽微であります。

収益認識会計基準等を適用したため、前連結会計年度の連結貸借対照表において、「流動資産」に表示していた「受取手形及び売掛金」は、第1四半期連結会計期間より「受取手形、売掛金及び契約資産」に含めて表示することといたしました。なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。さらに、「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号2020年3月31日)第28-15項に定める経過的な取扱いに従って、前第3四半期連結累計期間に係る顧客との契約から生じる収益を分解した情報を記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表への影響はありません。

(追加情報)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自2020年4月1日 至2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国	その他アジア	北米	
売上高					
外部顧客への売上高	3,701,971	5,020,510	2,814,597	1,638,911	13,175,990
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,548,725	2,640,053	1,508,653	11,352	5,708,784
計	5,250,696	7,660,563	4,323,250	1,650,264	18,884,775
セグメント利益(△損失)	△59,049	1,321,996	435,420	467,035	2,165,402

(注) 日本…当社 SEMITEC株式会社

中国…SEMITEC (HONG KONG) CO.,LTD、石塚国際貿易(上海)有限公司、SEMITEC TAIWAN CORP.、

石塚感応電子(韶関)有限公司、江蘇興順電子有限公司、石塚感応電子(深圳)有限公司

その他アジア…SEMITEC KOREA CO.,LTD、SEMITEC ELECTRONICS PHILIPPINES INC.、Thai Semitec Co.,Ltd、

SEMITEC ELECTRONICS VIETNAM CO.,LTD.、SEMITEC ELECTRONICS INDIA PRIVATE LIMITED

北米…SEMITEC USA CORP.

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,165,402
セグメント間取引消去	48,075
棚卸資産の調整額	△66,766
その他	1,319
四半期連結損益計算書の営業利益	2,148,030

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自2021年4月1日至2021年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	日本	中国	その他アジア	北米	
売上高					
外部顧客への売上高	4,736,698	5,704,357	3,394,489	1,788,048	15,623,594
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,541,567	2,833,582	2,785,996	37,923	7,199,070
計	6,278,265	8,537,940	6,180,486	1,825,972	22,822,664
セグメント利益	437,464	988,707	604,711	495,476	2,526,359

(注) 日本…当社 SEMITEC株式会社

中国…SEMITEC (HONG KONG) CO.,LTD、石塚国際貿易(上海)有限公司、SEMITEC TAIWAN CORP.、石塚感応電子(韶関)有限公司、江蘇興順電子有限公司、石塚感応電子(深圳)有限公司

その他アジア…SEMITEC KOREA CO.,LTD、SEMITEC ELECTRONICS PHILIPPINES INC.、Thai Semitec Co.,Ltd、SEMITEC ELECTRONICS VIETNAM CO.,LTD.、SEMITEC ELECTRONICS INDIA PRIVATE LIMITED

北米…SEMITEC USA CORP.

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	2,526,359
セグメント間取引消去	45,350
棚卸資産の調整額	△63,226
その他	△220
四半期連結損益計算書の営業利益	2,508,262

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。